

(社)日本民営鉄道協会 第 87 回定時総会を開催

(社)日本民営鉄道協会（東京都千代田区）は、本日 5 月 29 日（金）に、「第 87 回定時総会（東京都千代田区 経団連会館）」を開催し、次の議案を原案どおり承認しました。

〔議 案〕

1. 平成 20 年度事業報告及び収支決算の承認について
2. 平成 21 年度事業計画及び収支予算並びに会費について
3. 総会決議について
4. 理事（委員会委員長）の承認について
5. 役員の選任について
6. 顧問の委嘱について
7. 総務委員長の選任について

承認された議案のうち、役員の選任については、会長に上 條 清文かみじょうきよふみ東京急行電鉄会長（新任）、副会長に石渡恒夫いしわたつねお京浜急行電鉄社長（新任）、木下栄一郎きのしたえいいちろう名古屋鉄道社長（再任）、坂井信也さかいしんや阪神電気鉄道社長（新任）、明松 亮 一かがりりょういち神戸電鉄会長（再任）、くわなひろかつ桑名博勝富山地方鉄道社長（再任）、おおたてつや大田哲哉広島電鉄社長（再任）を選任しました。
さとうしげたか佐藤茂雄京阪電気鉄道 CEO は、協会会長および理事を退任し、顧問の委嘱を受け就任しました。

みさわ あきら常勤役員は、三澤 明 理事長（再任）、おおやぶじょうじ大藪譲治常務理事（再任）、ついきよしお立木善夫常務理事（再任）、きたのただみ北野忠美常務理事（再任）を選任しました。

なお、総会決議文と役員名簿は別紙のとおりです。

以上

本日、この資料は下記の記者クラブにお届けしています。

○国土交通記者会 ○ときわクラブ ○東海交通研究会 ○青灯クラブ ○近畿電鉄記者クラブ

総 会 決 議

我々民営鉄道事業は、基幹的な公共交通機関として人々の生活や経済・社会活動を支える重要な役割を担うとともに、沿線の開発等を通して地域社会の発展にも大きく貢献してきたところである。そして、近年の少子・高齢化の本格的な進展に加え、昨今の世界的な景気後退の影響を受けた大変厳しい経営環境の中においても、引き続き、鉄道利用者の皆様が快適に移動できる輸送サービスの提供を確保するとともに、人々の定住や交流が促進される個性的で魅力ある沿線の地域づくりを地域の方々とともに連携・協働して推進することが強く求められている。

このような状況の中で、我々民営鉄道事業者はこの社会的な使命を強く認識し、鉄道事業の大前提である安全・安心の確保を最優先に取り組みつつ、駅や車両のバリアフリー化、乗り継ぎ利便の向上、IC カード乗車券の汎用化など、より一層利用し易い鉄道を目指して引き続き努力するとともに鉄道とまちづくりの連携による地域の活性化等に全力を傾注する。

また、昨年、京都議定書の第1約束期間がスタートし、深刻化する地球温暖化問題の克服が世界的に強く求められる中、鉄道は環境負荷が小さく、地球環境に優しい特性を有する公共交通機関であることについてこれまで以上に国民各層に広く理解を求め、また、経済界等とも連携して、より一層の鉄道利用の促進を強く訴え、環境に優しい持続可能な社会の実現を目指す。

このような中、民営鉄道が今後とも地域の基幹的な公共交通機関として引き続きその役割を果たしていくためには、我々民営鉄道事業者の経営努力とあわせて官民の適切な役割分担とパートナーシップに基づく様々な形での公的支援が必要不可欠である。

国および地方公共団体におかれては、民営鉄道事業の公共的役割と経営の実状を十分にご理解いただき、下記事項に関する公的支援に特段のご配慮を賜りたく、総会決議をもって要望する。

記

1. 安全・安心対策の推進
2. 民鉄関係予算等助成制度の拡充および民鉄関係税制の改善
3. 環境対策の一層の推進
4. バリアフリー化等鉄道サービスの更なる向上
5. 鉄道整備の円滑化および鉄道とまちづくりの連携施策の推進
6. 地方民鉄再生・活性化の推進

以上のとおり決議する。

平成21年5月29日（金）

社団法人 日本民営鉄道協会
第87回定時総会

社団法人 日本民営鉄道協会 役員名簿 (平成21年5月29日現在)

(総務委員長)

(運輸委員長)

(勞 務 委 員 長)
(地 方 交 通 委 員 長)
(財 務 委 員 長)
(技 術 委 員 長)
(広 報 委 員 長)

以上